

## 2004年度助成一覧

## ① 研究活動に対する助成

## (a) 経済分野

コード	研究者氏名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	成果文献等
0401	有岡律子(共同)	福岡大学 経済学部 助教授	企業再生における会社法および倒産法改正とその経済的効果	70万円	【雑誌】『企業再生における「入り口」と「出口」の多様化』(松尾順介著(社)日本証券アナリスト協会「証券アナリストジャーナル」2005年4月号 2005.4)
0402	石井真一(共同)	大阪市立大学 大学院経営学 研究科 助教授	国際合併事業に関する出資戦略と組織の比較分析—トロイの木馬仮説の実証研究—	60万円	【紀要】『日米合併におけるトロイの木馬仮説の検証—日本市場の電機産業の分析—』(大阪市立大学経営学会 石井真一・ジョンフランソワ・ヘナート著「経済研究」第56巻第4号215-226頁 2006.2)  【雑誌】『Does the Evolution of US-Japanese Joint Ventures in the Japanese Electrical Equipment Industry Support the Trojan Horse Theory of Joint Ventures?』Shinichi Ishii, J-F Hennart (ENGAGEMENT Proceedings of the 12th MOPAN International Conference P281-289)  【書籍】『日本企業の国際合弁行動—トロイの木馬仮説の実証分析—』(千倉書房 2009.12.27)
0403	石川英樹(共同)	長岡大学 産業経営学部 専任講師	中小企業金融における信用保証制度の役割増大のための部分保証の経済分析—日・英・韓の比較分析—	70万円	【助成研究報告書(中間)受領済】
0404	井上智夫(共同)	成蹊大学 経済学部 助教授	構造変化のもとでの金融・財政政策の政策波及効果:Bayesian State-Space VAR にもとづく再検証	40万円	【論文】『日本における金融政策効果—構造変化の可能性を考慮に入れた再検証』井上智夫、沖本竜義 2006年7月
0405	王在喆(単独)	立正大学 経済学部 助教授	中国経済の地域構造に関する実証研究	50万円	【紀要】『中国経済の地域構造および地域間相互依存関係—「2002年中国地域間産業連関表」に基づく実証分析—』(立正大学 経済学季報 第56巻第3・4号 2007年3月20日発行)
0406	大澤義明(単独)	筑波大学 システム情報工 学研究科 教授	日本における地域間競争	50万円	【雑誌】『日本における地域間消費税競争』大澤義明、小林隆史、川野 智、上原健一 (応用地域学研究 No.12、P55~67、2007 抜刷)
0407	大野早苗(単独)	武蔵大学 経済学部 助教授	長期的な国際分散投資と為替ヘッジに関するインプリケーション	60万円	【論文】『短期運用および長期運用における国際株式投資へのマクロショックの影響と為替ヘッジに関するインプリケーション』  【論文】『国際分散投資と為替ヘッジに関するマクロショックの影響』

コード	研究者氏名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	成果文献等
0408	大森 拓磨 (単独)	和歌山大学 経済学部 講師	中小金融機関の預金 保険をめぐる日米制 度比較研究～資産・ 負債リスクの個別査 定評価を反映した保 険料率の決定過程を 中心に～	40万円	【ワーキングペーパー】『可変保険料方式 と金融機関の評価格差－預金保険の日 米制度比較を睨んで－』(Working Paper Series 新潟大学経済学会 No.89 2008.8)
0409	岡村 誠 (共同)	広島大学 経済学部 教授	中央銀行の政策と銀 行業の最適産業構造 に関する理論的・実証 的研究	50万円	【助成研究報告書(中間)受領済】
0410	金子 昭彦 (共同)	東京工業大学 社会工学研 究科 助教授	貨幣経済における消 費税と経済成長率の 関係(世代重複モデル を用いて)	60万円	【雑誌】『consumption tax and economic growth in an overlapping generations model with money holdings』(with Daisuke Matsuzaki (Journal of Economics, vol.98, issue2, 155-175 2009)
0411	北村 行伸 (単独)	一橋大学 経済研究所 教授	企業金融と企業業績 に関するマイクロ計量経 済学的分析	50万円	【論文】『Managerial Tradeoff Between Profits and Debt: Evidence from The Basic Survey of Japanese 1990s』 (February 4, 2003)  【雑誌】『経済研究』(岩波書店 2009年7 月 VOL.60 NO.3)  【紀要】『不完全資本市場下での生産関 数の推定について』2009年6月)
0412	倉澤 資成 (共同)	横浜国立大学 大学院国際社 会科学研究科 教授	「企業再編」と「新株引 受権(付社債)」に関 する近年の商法改正 と経済学によるその分 析・評価	100万円	【論文】『転換社債発行のアナウンスメント 効果－転換価格修正条項の意味－』 (2006.4) (土村宜明、山田聖子)  【学会発表】『転換社債によるコントロール ・ライトの配分とその機能』(2006.4.27 日本ファイナンス学会報告論文) (倉澤資 成、土村宜明)
0413	栗原 裕 (単独)	愛知大学 経済学部 教授	今後の金融政策—量 的緩和の検証と今後 の課題—	40万円	【雑誌】『量的緩和政策からの出口問題』 ((財)外国為替貿易研究会「国際金融」 NO1143. 2005.4)  【論文】『MONETARY EASING IN JAPAN: POLICY INFLUENCES AND TRANSITION PROBLEMS』(「Global Business & Economics Anthology」 2005.12)
0414	小西 大 (単独)	一橋大学 大学院商学研 究科 助教授	銀行および金融シス テムのリスクに関する 定量的分析	80万円	【論文】『Equity investment regulation and bank risk: Evidence from Japanese commercial banks』(「IT and the Japanese financial system in the 21st century」2005.3 一橋大学) (「The 18th Australian Finance and Banking Conference」2005.12 シドニー)
0415	小林 照義 (単独)	中京大学 経済学部 専任講師	短期・長期利子率と金 融政策の効果に関する 理論的分析	40万円	【雑誌】『Journal of Banking & Finance』 (2009年12月)

コード	研究者氏名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	成果文献等
0416	小 藤 康 夫 (単独)	専修大学 商学部 教授	リレーションシップバン キングと産業クラス ター集積の相互作用 について	50万円	【紀要】『地域金融機関と金融行政-リ レーションシップバンキングと産業クラス ター集積の相互作用について-』(「専修 商学論集」第82号 2006.1)
0417	佐々木 百合 (単独)	明治学院大学 経済学部 助教授	日本の銀行の貸出行 動-同時方程式を用 いるパネル分析	60万円	【助成研究報告書受領済】
0418	篠 塚 友 一 (単独)	小樽商科大学 教授	重複世代モデルにお ける世代間衡平性	40万円	【雑誌】『Interdependent utility functions in an intergenerational context』 (Advances in Mathematical Economics 11, 147-155 2008. 9 抜刷)
0419	高 橋 一 (単独)	一橋大学 大学院経済学 研究科 教授	金利スプレッドの理論 モデルについて	50万円	【学会発表】『不完備市場に於けるプライ シング』(JAFEE日本夏季大会 2006年8 月3日)
0420	谷 崎 久 志 (単独)	神戸大学 大学院経済学 研究科 教授	日英米の株価にお けるボラティリティのスピ ル・オーバー効果に関 する研究	60万円	【論文】『Volatility Transmission between Japan,U.K.and U.S. in Daily Stock Returns』
					【雑誌】『Volatility transmission between Japan,Uk and USA in daily stock returns』(Empirical Economics (2009) Vol.36,P27-54)
0421	中 田 啓 之 (単独)	エッセクス大学 商学部 助教授	非確率的な不確実性の 理論による金融の役 割に関する研究	50万円	【雑誌】『Equivalent comparisons of information Channels』(Theory and Decision (2011) 71 P559-574)
0422	中 村 保 (単独)	神戸大学 大学院経済学 研究科 教授	銀行の自己資本への 規制とマクロ経済変動 に関する理論的・実証 的研究	70万円	【雑誌】『A dynamic analysis of an economy with banking optimization and capital adequations』(Journal of Economics and Business 5415)
0423	橋 本 優 子 (単独)	東洋大学 経済学部 助教授	為替市場構造と金融 政策、ニュース効果に 関する分析	40万円	【雑誌】『The impact of the Japanese banking crisis on the intraday FX market in late 1997』(ELSEVIER Journal of Asian Economics 16(2005)205-222)
0424	深 浦 厚 之 (単独)	長崎大学 経済学部 教授	「事業の証券化」の可 能性と投資家保護制 度・金融システムへの 影響に関する研究	50万円	【紀要】『流動性概念と債権流動化-流動 性選好説と貨幣交換-』(長崎大学経済 学会「経営と経済」第85号 第3・4号 2006. 2)
0425	細 野 助 博 (共同)	中央大学 総合政策学部 教授	アジア諸地域の生活 動態と消費意欲	60万円	【論文】『幸福にとって「経済社会発展」 とは何か?-アジアバロメーターのデー タ解析からの私見-』(アジア・バロメ ーター学術会議 於:中央大学 2006.2.23-24) (細野助博)
					【雑誌】『アジア・バロメーターにみられる 共同体意識』(都市出版 外交フォーラム 2005.10) (猪口 孝)

コード	研究者氏名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	成果文献等
					<p>【論文】『Quantifying Social Capital in Central and South Asia: Are There Democratic, Developmental, and Regionalizing Potentials?』 (Written for presentation at the AsiaBarometer 2005 Conference, 22-24 February 2006, Chuo University, Tokyo, Japan.) (Takashi Inoguchi, and Zen-U Lucian Hotta)</p> <p>【小冊子】『幸福にとって「経済社会発展」とは何か? - アジアバロメーターのデータ解析からの私見 -』 (アジア・バロメーターから見た市民の幸福感と遵法精神 猪口孝編 (AsiaBarometer Project Series 2) 7-23頁) (細野助博)</p>
0426	松村敏弘 (単独)	東京大学 社会科学研究所 助教授	混合市場における公 企業改革	60万円	<p>【雑誌】『COMPETITION-ACCELERATING PUBLIC INVESTMENTS』(TOSHIHIRO MATSUMURA)(Blackwell Publishing Ltd/University of Adelaide and Flinders University 2005)</p> <p>【雑誌】『Partial Agglomeration or Dispersion in Spatial Cournot Competition』(Toshihiro Matsumura, Takao Ohkawa, and Daisuke Shimizu)(Southern Economic Journal 2005, 72(1), 224-235)</p> <p>【雑誌】『REALIZED COST-BASED SUBSIDIES FOR STRATEGIC R&amp;D INVESTMENTS WITH EX ANTE AND EX POST ASYMMETRIES』(MINORU KITAHARA and TOSHIHIRO MATSUMURA)(The Japanese Economic Review Vol.57, No.3, September 2006)</p> <p>【雑誌】『Equilibrium number of firms and economic welfare in a spatial price discrimination model』(Toshihiro Matsumura, Makoto Okamura)(ELSEVIER Economics Letters 90(2006) 396-401)</p> <p>【雑誌】『Cournot and Bertrand in shipping models with circular markets』(Toshihiro Matsumura, Daisuke Shimizu)(Papers in Regional Science, Volume 85 Number 4 November 2006)</p>
0427	水野敬三 (共同)	関西学院大学 商学部 教授	不確実性下における ネットワーク設備投資 と競争政策に関する 分析	50万円	<p>【雑誌】『Access pricing and investment with stochastically growing demand』 Keiichi Hori, Keizo Mizuno (ELSEVIER 「International Journal of Industrial Organization」2005)</p>

コード	研究者氏名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	成果文献等
0428	本 西 泰 三 (単独)	関西大学 経済学部 助教授	日本の銀行業界の変 革と金融政策	40万円	【論文】『中国の地方銀行の不良債権問題—政府の介入は影響したか？2002年の城市商業銀行データを用いた分析—』(関西大学出版部「東アジア経済・産業のダイナミクス」関西大学経済・政治研究所、東アジア経済・産業研究班編 PP55～75 2015年3月)
0429	渡 部 和 孝 (単独)	大阪大学 社会経済研究 所 専任講師	BIS規制と銀行の貸出 行動についての理論・ 実証研究	60万円	【論文】『Prudential Regulation and the “Credit Crunch”: Evidence from Japan』
0430	MCKENZIE Colin (共同) Ross	慶應義塾大学 経済学部 教授	新情報の日本の株式 市場と社債市場への 効果について	100万円	【助成研究報告書受領済】

## (b) 法律分野

コード	研究者氏名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	成果文献等
0431	今 井 克 典 (共同)	名古屋大学 大学院法学研 究科 助教授	銀行業の特殊性に基 づく法的効果	90万円	【紀要】『銀行の貸出業務における公共性に基づく義務の存否』(名古屋大学法政論集第214号(2006年9月刊)抜刷)
0432	植 田 淳 (単独)	神戸市外国語 大学 外国語学部 教授	相談業務をめぐる銀 行・顧客間の関係と信 認義務	50万円	【紀要】『銀行・顧客間の関係と信認義務—イギリス法からの示唆—』(外国学研究第63号抜刷)(神戸市外国語大学外国学研究所2006年3月発行)
0433	近 江 幸 治 (共同)	早稲田大学 大学院法務研 究科 教授	資本市場からの資金 調達を前提とする不 動産金融実体法の実 証的研究	120万円	【紀要】『「サブリース問題」再論』近江幸治(早稲田法学 第80巻第3号抜刷 2005.7.20発行)  【紀要】『アメリカ法における不動産収益担保権の効力と実行制度について—アメリカ統一賃料譲渡法(UARA)の成立を契機として—』青木則幸(早稲田法学比較法研究所機関誌「比較法学」第40巻第2号(通巻第81号)抜刷 2007.1.1発行)  【書籍】『信託制度と預り資産の倒産隔離』岸本雄次郎(日本評論社 2007.9.30発行)
0434	大 淵 哲 也 (共同)	東京大学 大学院法学政 治学研究科 教授	金融機関における金 融ビジネスモデル特 許の影響	130万円	【雑誌】『複数主体により構成される発明の明細書作成に関する実務的一考察—より実効性のある複数主体特許発明の取得への模索・チャレンジ—』(加藤公延)(財産管理 Vol.56 No.4 2006 P573-583)  【雑誌】『「回路のシュミレーション方法」の発明が、特許法2条1項にいう「発明」に該当せず、同法29条1項注書に規定する要件を満たしていないとした審決が維持された事例』(平嶋竜太)(判例時報 1915号 P204-213)
0435	木 下 孝 治 (共同)	同志社大学 大学院司法研 究科 教授	預金者の決済資金の 管理における銀行と 顧客の法的関係につ いて	70万円	

コード	研究者氏名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	成果文献等
0436	木村 弘之亮 (単独)	日本大学 総合科学研究 所 教授	数理ファイナンス・ア プローチによる金融税 制の近代化	50万円	【論文】『金融商品取引にも続く投資収益 に対する所得課税の改正試案:ファイナ ンス数理による分析』  【雑誌】『金融商品に基づく投資収益に対 する所得課税の近代化:ファイナンス数 理による分析』(税務弘報)(1)2006.12 P87-94 抜刷、(2)2007.1 P135-147 抜 刷、(3)2007.2 P187-199 抜刷、(4) 2007.3 P153-161 抜刷  【雑誌】『アメリカ内国歳入法典と省令の 下における発行割引利子ルール—その 紹介と簡素化の径—』(税法学557) P49-111 抜刷
0437	小 梁 吉 章 (単独)	広島大学 大学院法務研 究科 教授	2004年フランス倒産 法改正の基本原則	40万円	【書籍】『フランス倒産法』(信山社. 2005.12)
0438	小 山 泰 史 (単独)	立命館大学 法学部 教授	預金債権を目的とす る優先権付与の可否 —物権的救済におけ る「客体の特定性」要 件の意義を中心として	40万円	【雑誌】『Priority of Mistakenly Transferred Funds Between Restitution Claims and Security Interest on Deposit Accounts: A Comparative Analysis on the Good Faith Purchase Defense under the Law of Restitution, The U.C.C. and the Japanese Civil Code』 (RITSUMEIKAN LAW REVIEW International Edition No.25 March 2008)
0439	澤 井 啓 (単独)	大阪府立大学 経済学部 教授	ADRによる金融紛争 解決に関する研究	50万円	【雑誌】『国際商事仲裁に対する企業の 姿勢と実務』(社)日本商事仲裁協会 JC Aジャーナル2006.9 P12-24)
0440	竹 濱 修 (共同)	立命館大学 大学院法務研 究科 教授	取締役の任務懈怠責 任の再検討-第三者 に対する責任の理論 と実務動向を中心に —	90万円	【紀要】『総合判例研究「取締役の第三者 に対する責任」の連載にあたって』竹濱 修 (立命館法学第299号 2005.6)  【紀要】『事実上の取締役の第三者に対 する責任-総合判例研究・取締役の第三 者に対する責任[平成編]-』竹濱 修 (立命館法学第303号(2005年第5号)抜印 2006.2.25発行)  【紀要】『名目的取締役の第三者に対す る責任—新会社法における機関構成を ふまえて—』瀬谷ゆり子 (桃山法学 第6号抜刷 2005年8月)  【紀要】『取締役の対第三者責任における 「第三者」』川島いつみ (立命館法学 第302号(2005年第4号)抜刷)2006年1月 25日発行)  【紀要】『任務懈怠・退職慰労金不払と取 締役の対三者責任』品谷篤哉 (立命 館法学 第303号(2005年第5号)抜刷) 2006年2月25日発行)  【紀要】『違法な新株の有利発行と取締役 の対第三者責任』山下典孝 (立命館 法学 第305号(2006年第1号)抜刷 2006 年6月25日発行)

コード	研究者氏名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	成果文献等
0441	千葉 恵美子 (単独)	名古屋大学 大学院法学研 究科 教授	金融商品の取引をめぐる契約締結過程の適正化と法環境のあり方	60万円	【雑誌】『貸金業取引をめぐる新判例の意義と今後の立法的課題』(法務総合研究所 みんけん(民事研修)第588号 2005.4)  【雑誌】『フランチャイズ契約締結段階におけるフランチャイザーの情報提供義務－福岡高判平成18・1・31を契機として』(NBL(New Business Law)835号P12-21 2006.6月)
0442	半田 吉信 (単独)	千葉大学 法科大学院 教授	債務法の現代化、契約法の統一	50万円	【紀要】『フランチャイザーの情報提供義務』(千葉大学「千葉大学法学論集」第20巻第2号 2005.9)
0443	廣瀬 久和 (単独)	東京大学 大学院法学政 治学研究科 教授	約款法論の再検討	60万円	【紀要】『民法改正案「定型約款」規定についての覚書(1)』(青山学院大学法務研究会「青山法務研究論集」第13号 2017年3月31日 159～179頁)
0444	広瀬 裕樹 (共同)	愛知大学 法学部 助教授	銀行支配会社グループの法的諸問題	80万円	【紀要】『金融機関による商品販売の勧誘と説明義務』(静岡大学 宮下修一著「法政研究」第10巻第3・4号 2006.3)
0445	山本 為三郎 (共同)	慶応義塾大学 法学部 教授	会社法現代化に関する基礎的検証	70万円	【書籍】『新会社法の基本問題』(山本為三郎編慶應義塾大学出版会2006)
0446	渡邊 拓 (単独)	横浜国立大学 国際社会科学 研究科 助教授	企業買収契約における損害担保責任の果たす役割について	50万円	【紀要】『ドイツ債権法改正によって惹起された企業買収実務における法的不安定性の除去のための民法典改正について』(横浜国立大学横浜国際法学会「横浜国際経済法学」第14巻第1号53-61頁 2005.9)  【紀要】『性質保証の証明責任』(横浜国際経済法学第15巻第1号抜刷 平成18年9月)

## ② 研究成果の刊行に対する助成

## (a) 経済分野

コード	研究者氏名	申込時所属	助成金額	書籍名
0447	田 中 悟 (単独)	神戸市外国語大学 外国語学部 助教授	100万円	『イノベーションと産業組織－企業間コー ディネーションの視点』(多賀出版、 2005.6.20)